

第28回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成27年11月

応募者名：東京都 建設局 道路建設部

事業の名称：京王電鉄京王線・同相模原線(調布駅付近)
連続立体交差事業

実施都市名：東京都 調布市

事業目的

本事業は京王線の柴崎駅～西調布駅間約2.8kmの区間と相模原線の調布駅～京王多摩川駅間約0.9kmの区間を地下化することにより、18箇所の踏切を除却することで、道路ネットワークの形成を促進し、交通渋滞や地域分断を解消するとともに、地域の活性化に資するものである。

事業概要

事業名称：京王電鉄京王線・同相模原線（調布駅付近）
連続立体交差事業

事業箇所：京王線（柴崎駅～西調布駅間）、
相模原線（調布駅～京王多摩川駅間）

事業延長：約3.7km

構造形式：地下方式

駅施設：国領駅、布田駅及び調布駅

付属街路：延長約0.3km、幅員6m～8m、
路線数2本

事業費：約1,113億円

事業期間：平成14年度～平成26年度

・平成24年8月踏切除去（18箇所）

■立体交差化される都市計画道路（8箇所）

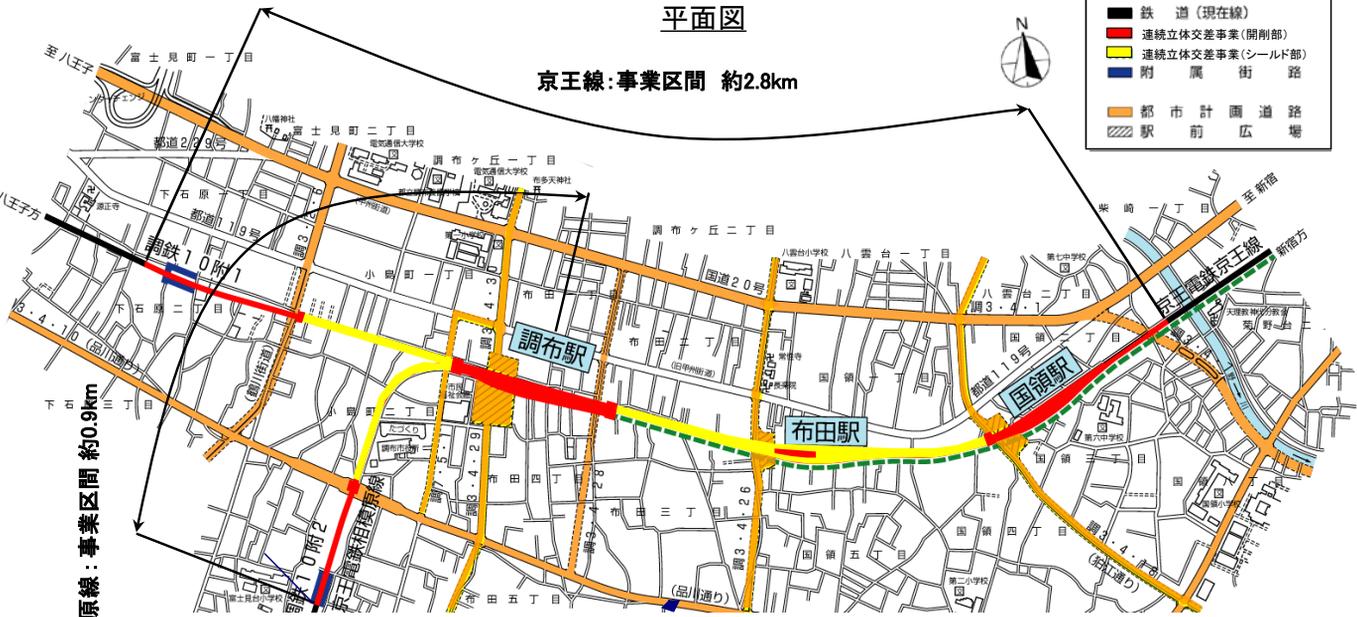
都市計画道路名称	計画幅員	摘要
調布 3・4・7	24.0m	—
調布 3・4・18	16.0m	狛江通り
調布 3・4・26	16.0m	布田南通り
調布 3・4・28	20.5m	蓮慶寺の通り
調布 3・4・29 調布 3・4・30	—	（駅前広場）
調布 7・5・1	15.0m	市役所前通り
調布 3・2・6	25.0m	鶴川街道
調布 3・4・10	25.0m	品川通り

事業位置図

凡例

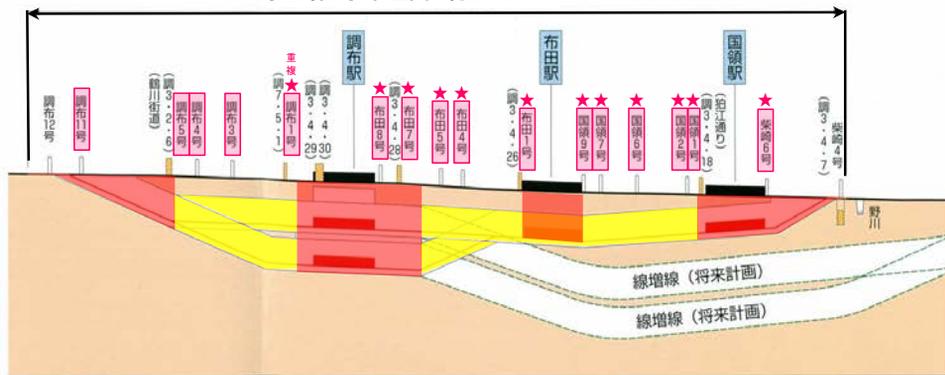
- 鉄道 (現在線)
- 連続立体交差事業 (開削部)
- 連続立体交差事業 (シールド部)
- 附属街路
- 都市計画道路
- 駅前広場

平面図



縦断面図

京王線: 事業区間 約2.8km

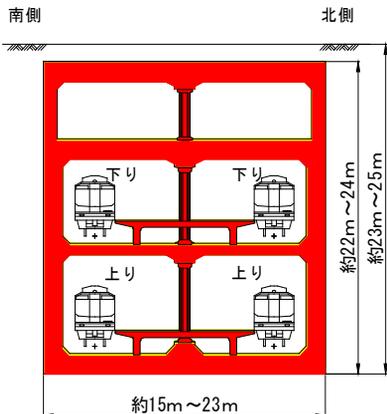


■ 除去する踏切 (18箇所)

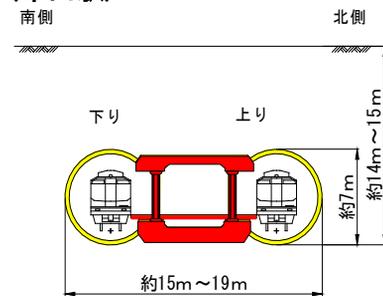
★ 開かずの踏切 (12箇所)

横断面図

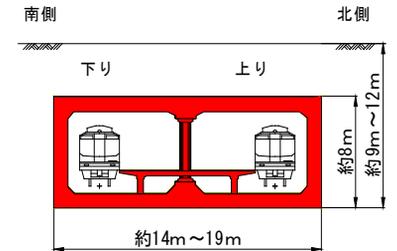
(調布駅)



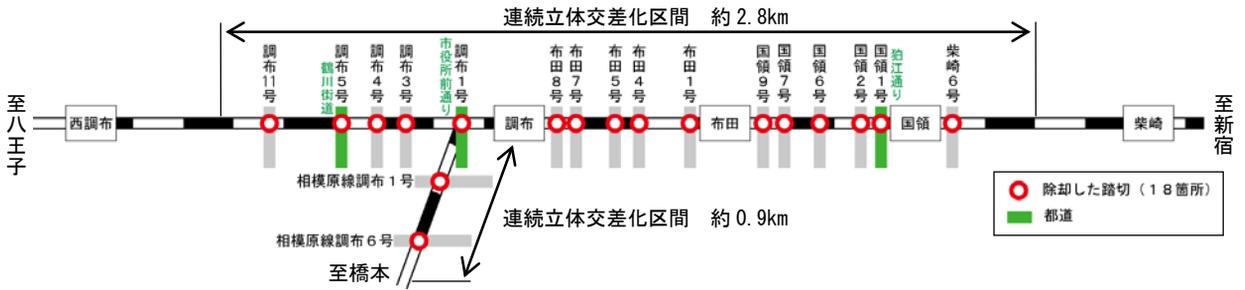
(布田駅)



(国領駅)

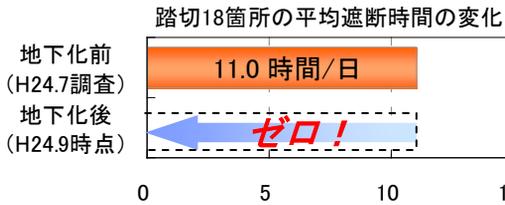


京王電鉄京王線・同相模原線の事業効果アピール資料

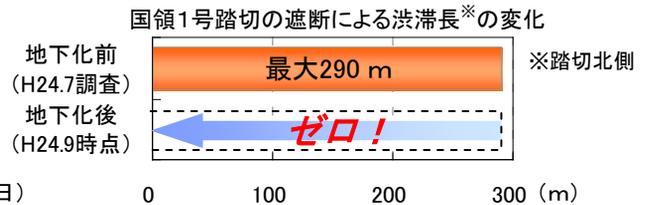


自動車交通が円滑化

18箇所の踏切遮断が解消



狛江通りの交通渋滞が解消



バスダイヤの信頼性が向上

調布駅北口→狛江駅北口間の所要時間[※]の変化
バスダイヤの所要時間 20分



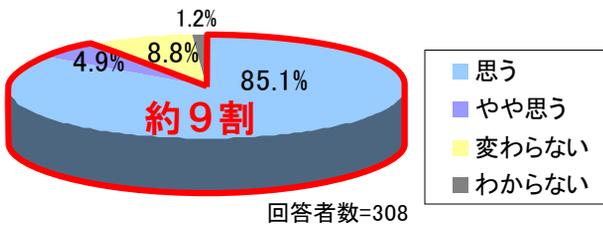
【狛江通りの状況】



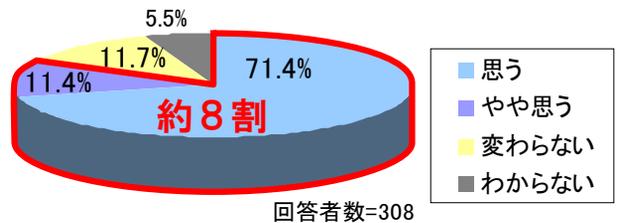
地元の方々が効果を実感

※地元の方々へのアンケート調査結果

線路の反対側へ行きやすくなった



救急車等がすぐにくてくれるという安心感が高まった



円滑な消防・救急活動に貢献

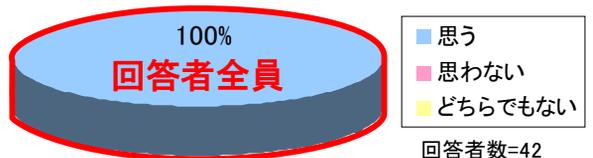
※地元消防署員へのアンケート調査結果

地下化前に踏切遮断で通行を妨げられた経験



消防署員
の意見

緊急出動時の移動がスムーズになった



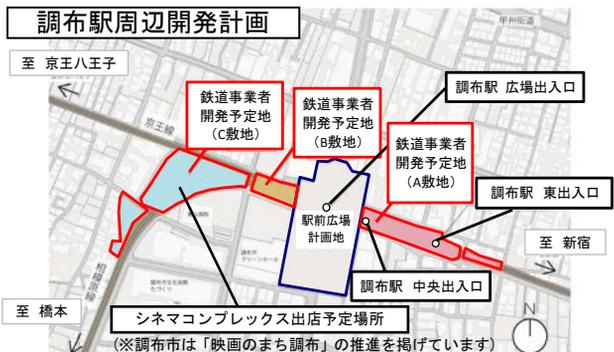
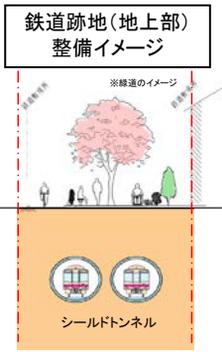
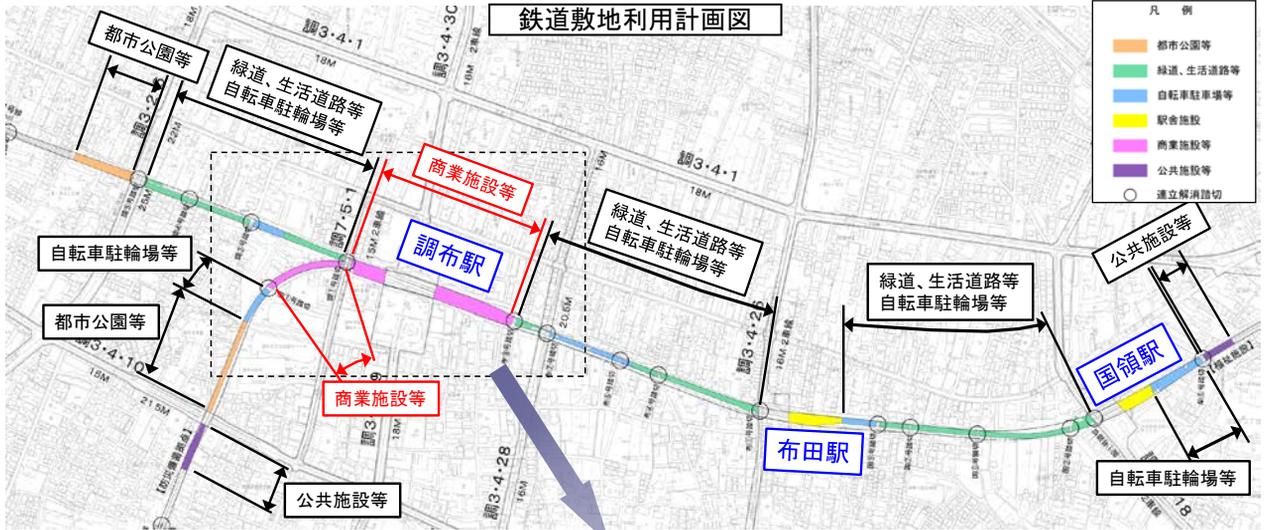
- 踏切除却前は混雑していた道路を避け迂回していたが、地下化になり迂回する必要がなくなった。
- 踏切遮断等による到達の遅れがなくなった。

京王電鉄京王線・同相模原線の事業効果アピール資料

地上空間の有効利用

新たに生み出される地上空間を利用して
市と鉄道事業者が駅前広場や商業施設等を整備

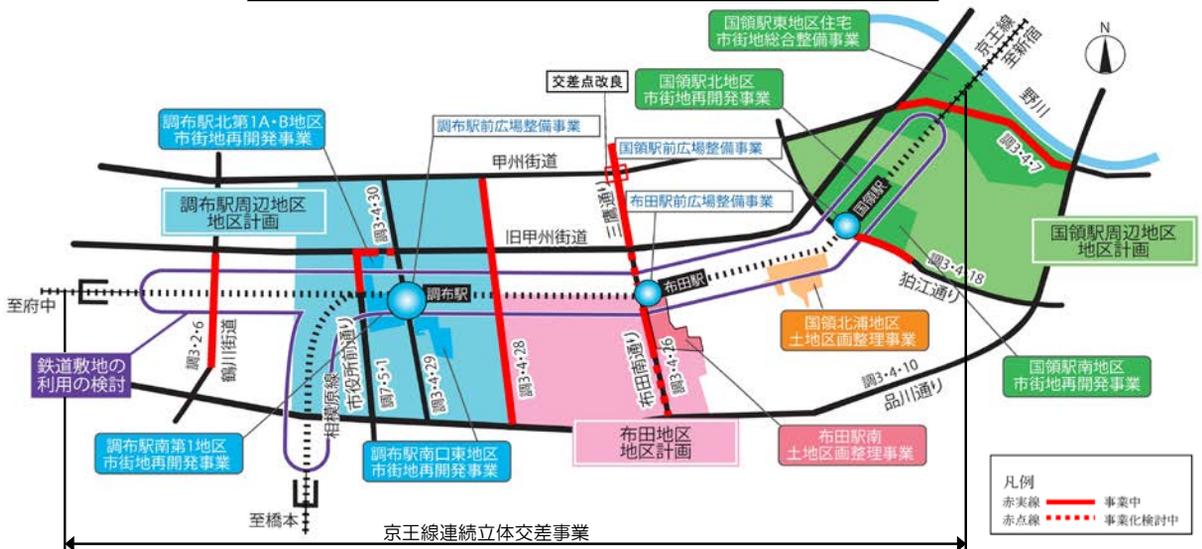
利便性・快適性の向上！
賑わいの創出！
地域文化の発信！
まちの魅力の向上！



総合的なまちづくりによる都市の活性化

連続立体交差事業を契機として、駅周辺再開発事業や駅前広場等、
沿線のまちづくりが大きく促進

京王電鉄京王線・相模原線(調布駅付近)沿線の街づくり



事業前写真

平成18年9月撮影

調布駅



昭和62年11月撮影

布田駅



平成24年5月撮影

調布1号踏切 (市役所前通り)



平成22年6月撮影

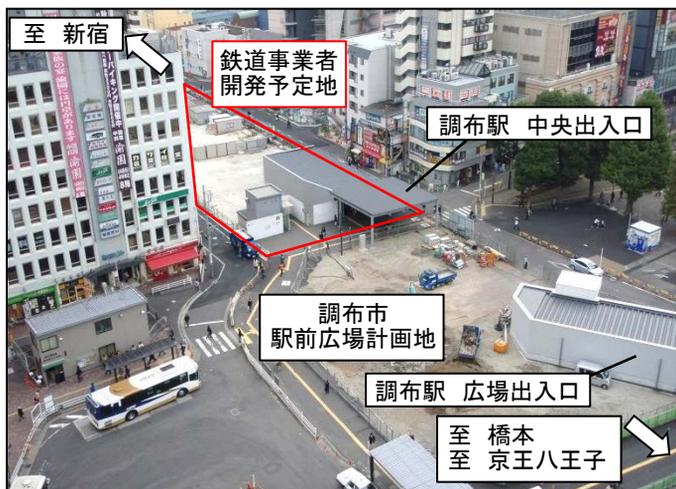
国領1号踏切 (狛江通り)



事業後写真

平成27年1月撮影

調布駅



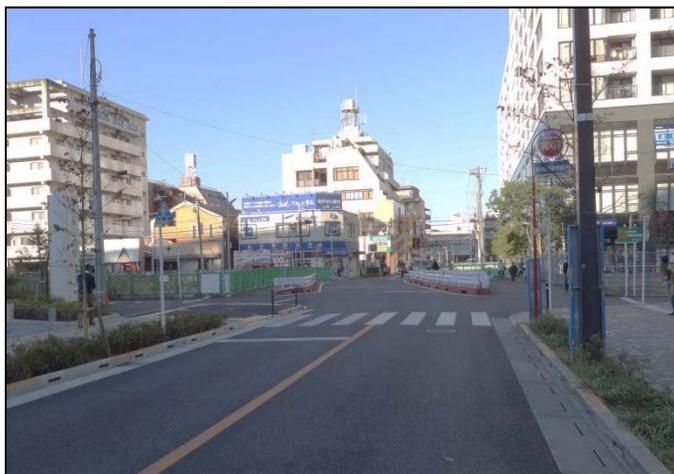
平成26年2月撮影

布田駅



平成27年11月撮影

調布1号踏切 (市役所前通り)



平成27年11月撮影

国領1号踏切 (狛江通り)



